



聖ペトロ・聖パウロ

カトリック延岡教会

令和4年1月

ST.Peter & ST.Paul Nobeoka Catholic Church

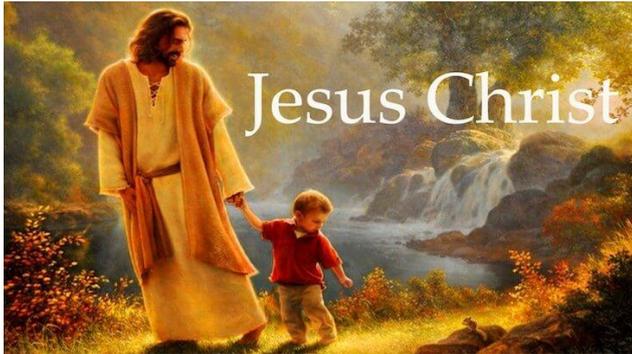
〒882-0825 宮崎県延岡市須崎町4-3 ☎0982-32-6501◇FAX0982-20-4640◇HPwww.nobeoka-catholic.com

No43

延岡教会年間目標「福音宣教に向けて心を尽くしましょう。」

教皇フランシスコ回勅「兄弟のみなさん」を通して

新年明けましておめでとうございます。



信徒の皆様は、新しい年を迎えた今、希望に満ちた新たな決意を胸にお過ごしのことと致します。新年を迎える時期は久しい再会をもたらす、共に食する喜びの時を刻むことが出来ます。しなしながら、ここ数年に渡るコロナ禍での生活習慣は人との交わりを遠ざけなければならず、この状況は人に孤独感や空虚感をもたらしているようにも感じます。

さて、私たちはカトリック信徒として、誰かと「ともにいる」場が、イエス・キリストの愛の教えを生きる場となります。しかしながら、コロナ禍における感染対策としての制限が設けられることによって、「ともにいる」場が距離を置かなければならない場となってしまう、「ともにいる」喜びに包まれる機会を持つことができなくなっています。コロナ禍対策による生活習慣はまだまだ私たちに求められます。このため、今年は、教皇フランシスコによる回勅「兄弟のみなさん」の内容を皆さんとともに共有して、霊的な繋がりを豊かにしていく「ともにいる」機会にしたいと思います。教皇フランシスコの8章に及ぶメッセージを一章ごとにまとめ、教会報において共有して行きたいと思えます。

「第一章閉ざされた世界の闇」について。

〈粉々に碎かれる夢〉

世界は多くの戦争と失敗から学び、さまざまな共存に向かって動いていたかに見えたが、後退の兆しが表れている。なぜなら、時代錯誤な対立に火が付き、憎悪のたぎる、攻撃的なナショナリズムが再燃しているからである。これにより、新たなかたちの利己主義と社会的感覚の喪失を生み出している。ここにおいて問い質されるべきことは、「多くの兄弟姉妹が今なお苦しんでいる不公正な境遇を否定するかのようにして、それに甘んじてはいけない」と言うことです。

経済界と金融会で用いられる「世界に開かれた」という表現は、もっぱら国外の利権者への解放、または経済大国の自由を指しています。ただ一つの文化様式を押しつけるために、地域紛争と共通善への無関心が世界経済によって悪用されています。この文化は、世界を均一化はしても、人々や国々を分断します。なぜならば、「社会のますますのグローバル化によって、人間は隣どうしにはなりますが、兄弟にはならない」からです。グローバリズムの進行は、強者のアイデンティティには有利である一方、弱者のアイデンティティは薄められ、より脆弱で従属的なものにされようとしています。

「分断して統治せよ」を提供する経済大国を前に、政治は益々弱体化するのです。こうした理由から、ある種の「脱構築主義」が文化的に浸透し、制限のない消費欲と中身のない個人主義の増幅を維持させるだけになります。これらは新たな形態の文化の植民地化です。

[2月号へ続きます。]

ミサの案内

主 日	平 日
18時30分～(土曜日):延岡教会 6時20分～(日曜日) :聖心ウルスラ修道院聖堂 9時30分～(日曜日):延岡教会	6時20分～ :聖心ウルスラ修道院聖堂

◎ 典礼(ミサ)について

1. **新年(神の母)ミサ**は、午前9時30分から行います。
2. 1月9日(日)のミサにおいて、新成人の方々の祝福を行います。
3. 1月30日(日)の「**世界子ども助け合いの日**」は、特定献金日となります。玄関に備えている献金袋をご利用いただき、献金箱へお入れください。

◎ 1月18日から25日までは、「キリスト教一致祈禱週間」となります。

◎ クリスマス飾りの片付けについて

1月9日(日)のミサ後に行いますので、お手伝いをお願い致します。

◎ 聖書講座会・勉強会・求道者勉強会について

1. 山下淳神父様の聖書講座は、1月25日(火)午後7時から、ウルスラ修道会聖堂にて行われます。
2. 勉強会は1月12日(水)から、求道者勉強会は1月15日(土)から始まります。

◎ 教会学校について

1月16日(日)から始まります。

◎ 役員会について

1月16日(日)のミサ後に行います。
